

大阪湾港湾等における高潮対策検討委員会  
(尼崎西宮芦屋港部会) の設置について

### 1. 背景

- 尼崎西宮芦屋港沿岸では、過去最高潮位を記録した台風第 21 号により、港湾・海岸施設等の被害に加え、防潮堤等よりも陸側（堤内地）の住宅地等において浸水被害が発生した。また、県管理河川沿川でも、高潮による浸水被害が発生した。
- 県が管理する検潮所では、既往最高潮位を超える潮位を記録したものの設計高潮位は超えていないことから、想定を超える高波等の影響があったと考えられる。
- このため、本台風による浸水原因を究明し、原因を踏まえた高潮対策の見直しを行うことが急務となっている。

検潮所	既往最高潮位 (第 2 室戸台風)	台風第 21 号最高潮位 (9 月 4 日 14:15)	設計高潮位
尼崎観測所	TP.+2.96m	TP.+3.53m	TP.+3.9m (尼崎地区)
西宮観測所	TP.+2.64m	TP.+3.24m	TP.+3.6m (西宮・芦屋地区)

### 2. 実施方針

- 台風第 21 号では過去最高潮位を記録した潮位や暴風による高波等により、尼崎西宮芦屋港沿岸等で浸水被害が発生したことから、被害状況の把握、高潮・高波の発生メカニズムの検証による被災原因究明及び避難支援対策等の検証を行い、ハード・ソフト面での高潮対策を見直す必要がある。
- このため、国土交通省や関係自治体等とも連携し「大阪湾港湾等における高潮対策検討委員会」の下に、学識経験者や専門機関などからなる本部会を設置し、以下の検討を行う。

#### 検討項目

- ①被災状況の把握
- ②被災原因の究明
- ③高潮対策の見直し 等

### 3. 検討体制

委員長：大阪大学大学院工学研究科 教授（海岸工学）

委員：明石工業高等専門学校都市システム工学科 教授（河川工学）

：兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 准教授（防災）

：国土交通省 国土技術政策総合研究所

：国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所

：気象庁神戸地方気象台

オブザーバー：近畿地方整備局、尼崎市、西宮市、芦屋市、神戸市

事務局：兵庫県

### 4. 検討スケジュール

3回程度開催（年度内にとりまとめ）